

ドイモイよ蘇れ

ゆたかな社会をめざして

— 発展的ドイモイの提言 —

著者 グエン・スアン・オアイン 訳者 片岡 利昭 (日越貿易会 顧問)

四六版 205 ページ ISBN 4-939153-16-9 C3033 3,000 円 + 税

発行: ビスタ ピー・エス 〒167-0022 東京都杉並区下井草 5-12-2

Tel: 03-5303-7420 Fax: 03-5303-7422

URL <http://www.vistaps.com> e-mail customer@vistaps.com

【本書の特徴】

この書は、まず筆者が時の政府にドイモイを提唱した経緯と、その成果と内容分析について歴史を追って紹介している。つぎに、現在の問題点を指摘し、今後推進すべき改革分野と方法論の提言をしている。それは、第二の産業革命ともいえる、インターネット時代に対応するための教育改革と、金融市場の自由化ならびに銀行の改革、そして、政権を担っているベトナム共産党の改革にまで及んでいることは、特筆すべきことである。この書は、ベトナムの豊かな将来を信じ、現政権にさらなる「発展的ドイモイ」を提言する渾身の力作である。

【著者紹介】

グエン・スアン・オアイン氏は 1921 年、ベトナム中部、バックザン省の豪農の生まれ。日本にあこがれて太平洋戦争中、単身、船で来日し、最も多感な青年時代を京都の第三高等学校と京都帝国大学で学ぶ。戦後、ハーバード大学で国際経済学を修め、ベトナム人として初めてアメリカの教壇に立つ。

その後、国際通貨基金(IMF)で上級顧問として活躍中、当時の南ベトナム(サイゴン)政府から度重なる帰国要請を受けて、戦争が次第に激しくなりつつあったサイゴンに帰国。中央銀行総裁兼副首相を務めていたが、政情混乱の一時期、首相代行の立場にあった。

北によるサイゴン解放を目前にして、政府高官や軍の高級幹部は先を争って海外に逃亡していったが、己の身の潔白を信じて母国に踏みとどまった。社会主義体制下ではしばらく厳しい監視下に置かれていたが、経済が停滞している現状を見て、IMF時代の経済学者などの協力をえて、自由化政策の報告書をつくり上げた。

これを時の政府に繰り返し提言し、ポー・バン・キエット首相の協力をえて、1986年12月、第6回共産党大会で、グエン・バン・リン国家主席がこの経済改革を採用することを決断した。これは提唱者である著者の発案で「ドイモイ」と命名された。これがその後のベトナムの輝かしい経済発展へと繋がっていったことは本書のとおりである。

著者はその後、政府の経済顧問や株式市場開設準備委員など数々の経済分野の重鎮として活躍。最近では、空港近くの自宅に投資顧問事務所を構えながら、悠悠自適の生活をしていた。

97年ベトナム人として初めて日本の勲三等旭日中綬章を受勲。

2003年8月29日、ホーチミン市トゥーズー病院で波乱の人生の幕を閉じた。享年 82 才。

【短信】

朝日新聞 2003年9月1日 朝刊の紙面上にて写真入りで大きく彼の紹介と死が報道された。「ベトナムの世界的エコノミスト グエン・スアン・オアインさんを悼む —ドイモイ政策の支柱に— (バンコク=宇佐波雄策)」、同日の日経新聞、読売新聞でも報道された。

取扱書店名

グエン・スアン・オアイン 著 片岡利昭 訳

ドイモイよ蘇れ ゆたかな社会をめざして
—発展的ドイモイの提言—

ISBN 4-939153-16-9 価格 3,000 円 + 税

発行 ビスタ ピー・エス

取扱 官報販売所、政府刊行物センター